

---

## 岐阜県立加茂農林高等学校

学校長 丹羽 俊文

学校住所 美濃加茂市本郷町3-3-13 電話 0574-26-1238

---

- 1 会議の名称 岐阜県立加茂農林高等学校 学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- |     |        |                   |       |            |
|-----|--------|-------------------|-------|------------|
| 委員  | 佐伯 薫   | 岐阜県指導農業士          |       |            |
|     | 十河 登志子 | 元美濃加茂市読書サークル協議会会長 |       |            |
|     | 富田 健児  | 岐阜県農業大学校校長        |       |            |
|     | 馬淵 欣児  | 行政書士              |       |            |
|     | 横田 喜子  | 会社員               |       |            |
| 学校側 | 丹羽 俊文  | 校長                | 瀬瀬 斗一 | 教諭(教務主任)   |
|     | 田屋 雅樹  | 教頭                | 岩永 英夫 | 教諭(生徒指導主事) |
|     | 土屋 静香  | 事務部長              | 澤野 美彦 | 教諭(進路指導主事) |
|     | 伊佐治 信彦 | 教諭(農場長)           |       |            |
- 3 会議の目的 学校運営について地域住民等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成28年7月5日(火) 13:30~15:30  
評議員5名全員が出席
- 5 会議の概要
- 平成28年度学校評議員の委嘱
  - 学校長あいさつ及び出席者自己紹介
  - 授業参観・校内見学
  - 生徒の学習活動の紹介
    - 意見発表(森林科学科2年生1名)  
「発想力で木づかい促進!~父から受け継ぐものづくりの精神~」
    - プロジェクト発表(食品科学科3年生3名・2年生3名)  
「守れ!堂上蜂屋柿~干し柿作りと規格外品の柿を利用した柿酢の製造~」
  - 学校評議員による会議
    - 教頭・各分掌長による教育活動の説明
    - 学校への意見・要望等
    - その他
      - 学校評価アンケートの依頼
      - 学校評議員会のHP掲載について(氏名等のご承諾)

校長の挨拶等の後、実習を中心に授業参観と校内見学をしていただいた。その後、生徒の活動例（意見発表とプロジェクト発表）を紹介するとともに、教頭及び各分掌長による教育活動の説明を行った。それらを踏まえて、学校評議員の方々からご感想・ご質問・ご意見をお聴きした。主な意見等をまとめると以下のとおりである。

意見1 キャリア教育アドバイザーの業務はどのような内容か。また配置の効果はどうか。

学校側 民間企業で人事担当経験のあるOBの方に委嘱している。生徒はもちろん教員に対しても進路実現のための広範で具体的な意見やアドバイスをいただいている。教員とは違う企業人としての視点での確かな支援が得られている。温和な人柄で、放課後など個別の相談に訪れる生徒も多い。進路関係の保健室の先生のような存在である。

意見2 先日、市内のスーパー店頭で実施したMSリーダーズの活動を他団体の一員として一緒に行った。生徒はとても明るく積極的に活動していた。とても良い活動だと思う。どのような経緯でできた組織なのか。

学校側 岐阜インターハイの時の「ひとり一役」を継続している高校生の自主的な啓発活動である。今年度からは中学校にも活動が広まった。本校では当初、生活委員が中心となっていたが、近年は自主的に希望して参加する生徒が増えている。

意見3 就職する生徒にとって、高校は最後の学舎となるわけだが、それを意識した特徴的な学習は行っているか。

学校側 知識や技術にとどまらず社会人として必要な生きる力を高めるよう、全ての教育活動で意識的に指導している。特に科目「課題研究」におけるプロジェクト学習は、課題を見つけ解決する力を伸ばすには格好の学習であるので、各学科の特徴を活かし地域とも連携しながら、生徒の自主的・能動的・協働的な学習の充実に努めている。

意見4 生徒一人ひとりに、在学中に一度は「晴れの舞台」に立たせてやるのが、自信と新たな学習の動機付けになると思う。農業高校はそういう機会を多く持っているのが強みであるので、最大限に活かしてほしい。

また、自分の高校時代を振り返ると、当時聞いた先輩の話がとても印象に残っている。本校の卒業生には生徒たちに語れるような活躍をしている者が大勢いる。先輩と語る会などを計画してみたらどうか。

意見5 初めて本校を見学して、本当に生徒たちが楽しく学習できる学校だと感じた。また、体育館の靴が整然と並んでいるところなどから、生徒がしっかりしていることが散見され、うれしい気持ちになった。

意見6 日本昭和村での「のうりんまつり」は毎年好評である。他の団体や地域イベント等との連携をますます進め、加茂農林高校の良さを積極的にアピールしてほしい。

## 6 会議のまとめ

「食と命の大切さを日々感じながら学んでいるので、生徒がイキイキしている。」との発言に代表されるように、評議員から異口同音に学校に対する評価と激励の言葉をいただいた。また、「地元で活躍する多くの卒業生の力も活用すればよい。」という心強いご助言もいただいた。応援していただいていることに感謝し、さらなる活性化に取り組む決意を新たにす会であった。

地元にも農業高校があるにもかかわらず、遠方から本校の見学を希望している中学生がいる。本校の生徒の姿を評価してのこのようだ。本校が持っている引き出しの多さを最大限に活かして生徒を伸ばし、生徒の姿で評価される学校づくりを進めたい。